令和８年度 第１回 蕨市立図書館協議会 会議録

開 催 日 時　令和８年８月２３日（日）　午前１０時から正午まで
開 催 場 所　蕨市立図書館　３階　会議室
議　　題　（１）蕨市立図書館協議会会長及び会長代理の選出について
（２）令和７年度事業報告について
（３）教育委員会事務事業点検評価（図書館）について
（４）令和７年度窓口サービスアンケート（図書館）の結果について
（５）令和８年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について
（６）第３次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果について
（７）蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について
出 席 者 氏 名　＜出席委員＞
町田　敏子委員、蓮沼　昌代委員、石田　俊介委員、椿　智絵委員、
岡本　和子委員、中村　和弘委員、髙濵　直美委員、近江　睦代委員、
荻原　由美子委員、杉本　孝一郎委員
＜欠席委員＞
なし
＜事務局：図書館職員＞
佐藤館長、石井館長補佐、藤橋管理係長、佐藤主査
会 議 経 過
管理係長から開会し、委嘱状交付、佐藤館長あいさつ、自己紹介、資料確認の後、議題に入る。

（１）蕨市立図書館協議会会長及び会長代理の選出について
管理係長が議題１を説明する。
会長の選出については、立候補者がいなかったため事務局案が採択され、町田委員が会長に、蓮沼委員が会長代理に選出。その後、町田会長よりあいさつ。

（２）令和７年度事業報告について
管理係長が議題２を説明し、質疑応答に入る。
委　員：令和７年度図書館概要によると、図書館システム導入委託料は約１６００万円だが、そのうちの半額が国からの補助金でまかなわれ、市の実質負担は約８００万円ということでよいか。
事務局：お見込みのとおり。そのほかに、令和７年９月の新システム導入以降の図書館システム保守委託料や図書館システム使用料についても半額分の補助金が出ているため、国からの補助金総額としては約９００万円となっている。
委　員：図書費が約１６０万円増えており、受入数も１，２０５冊増えているが、それ

は令和６年度の除籍件数が多かったからか。

事務局：令和６年度と比べて図書費が増えているのは、同年度にボイラーが故障した関係で想定外の費用がかかり、その分を図書費から流用したためである。令和７年度の図書費は５年度とほぼ同額である。

委　員：電子図書館の閲覧回数ランキングで、雑誌に続いて、「どっちが強い！？」シリーズが上位を独占しているのはなぜか。小学生に人気がある作品なのかもしれないが、小学生に電子図書館が浸透しているのか。

委　員：市内の学校の児童・生徒は全員電子図書館の利用登録をしており、図書の時間や休み時間にも利用している。

事務局：電子図書館の延べ利用者数４０，６０９人中３２，１３４人が学校利用となっている。延べ閲覧冊数でも８１，７７０冊中７３，４６９冊が学校利用であり、非常に大きな割合を占めている。児童読み放題パックを導入しており、何人でも同時に読めることが大きな要因である。なお、令和７年度は読み放題パックに「るるぶ」を追加した為、大人の利用も増えてきている。令和８年度の８月からは読み放題パックに「オレンジページ」も追加したため更なる増加が見込まれる。

委　員：電子図書館ではどのような本が読めるのかあまり知られていないと思うので、大人の電子図書館の利用を促進するために、もっと案内を増やしてはどうか。

委　員：多くの方に利用してもらえるように、電子図書館のＷＥＢサイト以外でもＰＲしてはどうか。

事務局：今後はＰＲの方法を工夫していく。

（協議会終了後、蕨市立図書館のホームページのトピックス欄にオレンジページの読み放題パック導入について掲載した）

委　員：セカンドブックの実施状況や課題について教えてほしい。

事務局：セカンドブックは、３歳６か月児健診の際に特定の８冊のうちから希望する１冊を配布する事業であり、利用者からとても喜ばれ、好評をいただいている。ただ、人気に偏りがあり、本によっては在庫を多く抱えてしまうことが難点である。令和８年度は、８冊を選定する際にあらかじめアンケートを取っており、２冊を入れ替えている。今後も定期的に見直しを行っていく。ブックスタートは４か月児健診時に実施している事業であり、こちらは色彩や擬音などのオノマトペを重視した絵本を選定しているが、セカンドブックは３歳６か月児ということもあり、少しストーリー重視の絵本を取り入れてみたが、思惑と違い、カラフルでビジュアル重視なものが選ばれやすいということが分かった。日本語が不得意な外国籍の方が増えているのも要因の一つかもしれない。

委　員：年間の実利用者数、貸出件数、予約件数などがいずれも減少傾向にあるのは、事務局としてはどのように捉えているか。

事務局：これらの件数は図書館の利用分であり、令和４年度から開始された電子図書館の利用分については含まれていない。事務局としては図書館の利用数が減少しているのは電子図書館の利用が伸びているからではないかと考えている。

委　員：登録者数だけが増えているのはどういうことか。

事務局：登録者数が増えているのは、図書館システムが住民基本台帳システムと連動していないので、転出した方や亡くなられた方のデータも残っているためである。

委　員：図書館の評価は、貸出件数や来館者数によるものが大きいため、図書館全体で対策を考えてほしい。また、今後は電子図書館の利用数についても資料に加えてみてはどうか。

事務局：令和７年度が６年度と比べて貸出数が１２，４５９件減った内訳として、児童書が約５，０００件、ＣＤが約５，０００件、ＤＶＤが約１，５００件となっている。減少理由として、ＣＤやＤＶＤについてはストリーミングの利用増加によるもの、児童書については電子図書館の利用にシフトしてきたことによるものではないかと考えている。また、児童数自体の減少も要因の一つとして考えている。

委　員：そういった内容は資料に盛り込んではどうか。また、ＣＤ、ＤＶＤの利用が減ってきているのであれば、それらの予算を減らし、電子書籍をその分増やすなどの検討をしてもいいのではないか。

事務局：令和７年度は６年度と比べ、ＣＤ、ＤＶＤの受入数も減っている。

委　員：ＣＤ、ＤＶＤの受入数が少ないから利用が減っているのか、利用が少ないから受入数が減っているのか判断するのは難しいところであるが、利用者のニーズを捉えた運用をしてほしい。

（３）教育委員会事務事業点検評価（図書館）について

管理係長が議題３を説明し、質疑応答に入る。

意見なし。

（４）令和７年度窓口サービスアンケート（図書館）の結果について

管理係長が議題４を説明し、質疑応答に入る。

意見なし。

（５）令和８年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について

管理係長が議題５を説明し、質疑応答に入る。

意見なし。

（６）第３次蕨市子ども読書活動推進計画推進状況調査結果について

管理係長が議題６を説明し、質疑応答に入る。

委　員：取組６の結果を見ると、学校は学校図書館資料の充実を図るなど、熱心に読書活動に取り組まれていることが分かる。以前は、学校は関係組織との連携があまりできていないという認識であったが、着実に推進されていると感じる。

委　員：司書教諭は各学校に１名おり、学校図書館教育支援員は２校に１名いて、週に２回ほど来ている。その他、保護者や地域のボランティアの方が読み聞かせなどに携わってくれている。

委　員：学校ごとにボランティアがいるのか。

委　員：それぞれの学校にボランティアがいる。

委　員：読書活動の取組をしっかり行っていることを、もっとＰＲしてもらえればよいと思う。

委　員：この蕨市子ども読書活動推進計画による取組を受けて育った子どもたちが、どのような大人に成長したのか、生涯学習の視点で追跡調査や評価指標があるとおもしろいと思った。

事務局：なかなか追跡調査は難しいが、この計画の達成状況を見るに年々各施設や地域で取組が活発になってきていると感じている。

（７）蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について

管理係長が議題７を説明し、質疑応答に入る。

委　員：新図書館記念事業の現状について補足する。新図書館記念事業検討委員会（仮）の正式名称は、新図書館オープン記念事業準備会に決まった。会員は１４名で、構成団体は、蕨市立図書館協議会、蕨てんとうむしの会、ケセランパサラン、サークルよみっ子、じゃんけんぽんの５団体である。平成１５年３月３１日発行の「蕨市市勢要覧」の蕨市の様子を伝える絵本部分について、冊子として複製するとともに、電子図書化することや新図書館で原画展を開催することなどについて、作者の長野ヒデ子先生に許可をいただけるように調整をしている。蕨市がこの事業に協力してくれるのであれば、長野先生も協力していただけるとのことである。記念イベントについては令和９年１０月ごろになると思うが、その中の一つである長野先生の講演会については、新図書館の集会室だと５０名程度しか参加できないため、場所をくるるの多目的ホールで開催することについても検討している。今後、令和８年度蕨市ＳＤＧｓ提案制度に応募する予定である。

委　員：新図書館移転の進捗を教えてほしい。

事務局：各種見積りを取るほか、引っ越し作業のスケジュール調整、２０万点の資料のＩＣタグ貼付作業方法の検討、書架・閲覧席の仕様の決定、ＩＣゲート・自動返却機・自動貸出機の選定など、他の自治体の図書館を視察しながら進めてい

る。引っ越しに関しては、書架１棚の資料をダンボール２箱に詰めていくと、合計約１万箱の量となり、２トントラックを使用して４日ほどかかる。新図書館が入る建物の地下に荷捌き場があるが、いつでも搬入作業ができるわけではなく、１階に入るスーパーや２階に入る銀行などの予定とすり合わせながら進めていく必要がある。７月に竣工・引き渡し予定だが、実際にいつ引っ越しできるかは再開発組合のスケジュール次第であり、現在はまだ不透明である。

委　員：引っ越し作業の際には現図書館は閉館となるのか。

事務局：閉館することになる。引っ越しの前には、全ての資料のＩＣ化をした上で、所定のダンボールに箱詰めする必要がある。また、例えば６段の書架であれば各書架の前にダンボールが１２箱置かれることになるため、開架フロアが箱で埋まることになる。

委　員：現図書館はいつ閉館となるか。

委　員：川口市の横曽根図書館は引っ越しにより約３か月閉めていた。蕨市も同様の期間がかかるとすると、夏休み期間全部閉めることになる。また、川口市では本館やほかの分館は開いていたため、別の館で予約や受取ができていた。戸田市も同様である。しかし、蕨市の場合だと、分館はノートでの貸出を行っている状況なので、そのような対応をすることができない。そのため、令和９年度当初から周知しておかないと混乱は避けられないのではないか。

事務局：お見込みのとおり、今回は単なる引っ越しではなく、ＩＣ化作業も含まれるため時間がかかる上、閉館中に分館で引き渡しを行うということもできない。早くスケジュールを決めてお知らせしたいところではあるが、相手があることなので、今はまだ難しい。

委　員：具体的な日にちは分からなくても、閉めるということだけでもアナウンスしておく必要がある。

事務局：早めにポスター、市や図書館のホームページ、エックスなどを活用して周知する。また、南町分館の新設や西公民館の移転に伴う錦町分館の移転もある。この機会にノートによる貸出をやめて、バーコードを読み取ることができるセルフ貸出機も各分館に導入したい。

委　員：分館にぜひセルフ貸出機を取り入れてほしい。

委　員：戸田市の図書館が閉じるときは、他の分館で予約本を受け取ることができたが、蕨市ではＩＣ化もあるので、そのようなこともできないという認識でよいか。

事務局：お見込みのとおり、資料はＩＣ化したらすぐに所定のダンボールに詰めることになるので、動かすことができない。

委　員：本館が閉館中、分館に元々ある本は借りることはできるか。また、新刊は分館に入らないのか。

事務局：分館に元々ある本であれば貸し出せる。新刊は本館が閉館中も毎週購入してい

くが、開架に出せない状況となる。ただ、新刊であっても元々分館に置く予定のものであれば貸し出すことができるかもしれないが、細かな運用については未定である。

委　員：全ての資料をＩＣ化するということは、一旦は全ての本が図書館に戻り、一定期間新規に貸出はしないということか。

事務局：お見込みのとおり、資料を貸出しない期間がある。

委　員：図書館機能が全てストップするのであれば、全ての資料の貸出はいつまで、返却はいつまでということを、来年すぐにはアナウンスが必要ではないか。広報紙にも毎月載せてもいいと思う。

委　員：そもそも図書館が移転すること自体があまり知られていない。夏休みに図書館で勉強することをあてにしている生徒・学生も多いと思う。

委　員：引き渡しは７月で、開館はいつになるか。

事務局：引っ越し業者からは、ＩＣ化、梱包、運送、開梱、排架などを考えると図書館の引っ越しには３、４か月はかかると聞いている。

委　員：新図書館に引っ越した後、現図書館はいつまで使えるのか。新図書館と併用ができたらよいと思う。

事務局：引っ越し後の跡地の利用については、まだ蕨市立図書館跡地等活用方針検討委員会で結論が出ていない。

委　員：図書館を閉めた場合の弊害について整理して、夏休みの期間の利用をあてにしている利用者のケアについても考えてほしい。

事務局：引き渡しを受けたらすぐに引っ越ししたいと考えている。現図書館がいつから閉館するかについては、決まり次第お伝えする。

委　員：市の情報はいろいろＬＩＮＥで受け取っているので、図書館の情報発信の手段としてもＬＩＮＥを使ってほしい。

委　員：図書館協議会が次回来年３月に行われる時には、移転スケジュールは決まっているのか。また、来年度の図書館協議会は通常どおり開催するのか。

事務局：来年３月には移転スケジュールは決まっている。来年度の図書館協議会の開催時期や場所については検討する。

委　員：図書館の移転は市が決定したことであり、そのために図書館が３、４か月閉まるのは市民としても、受容しないといけないことである。ただ、突然言われると反発も出てしまうので、７月引き渡し、１０月開館といったラフなスケジュールで構わないので、早めに提示し、「しばらく閉まってしまうが、その分良い図書館ができる」というマイナスではなくプラスになるようなＰＲをしていけばよいと思う。

委　員：ＬＩＮＥで図書館が閉まることを周知するのであれば、複数回発信してほしい。また、図書館が夏休みに使えないのであれば、ほかの公民館などに自習できる

スペースを開放してもらうようにお願いするべきだと思う。

事務局：現状では交流プラザさくらや下蕨公民館が空き部屋を開放しているが、他の施設にも依頼していきたい。

委　員：蕨駅西口再開発の工事現場の囲いに、図書館が移転してくることについて表記がないので何か案内を貼り出してはどうか。

事務局：案内を貼り出してよいか再開発組合に掛け合ってみる。

委　員：夏休み期間は、学校を一般開放してもらえるよう協力を仰げないか。

委　員：夏休みに学校を開放することは施設管理、人員、安全上などの観点から難しい。

委　員：学童では小学校の体育館を借りて、クーラーをつけて利用させてもらっていた。一部の場所だけでも開放してもらえるとありがたい。

【事務連絡】

管理係長から、①本日の協議会会議録の送付について、②本日の報酬について、③次回の協議会の日程についての３点を説明。

最後に蓮沼会長代理から閉会あいさつ。